



こう ずけ だい
上野台

第4号

発行日
H19.1.1

発行元
本多上野介正純公を学ぶ市民の会
〒013-8601
秋田県横手市中央町8-2
横手市横手地域局地域振興課内
TEL 0182-32-2701

※かつて本多上野介正純が横手での余生を過ごした高台が、現在も「上野台（こうずけだい）」と呼ばれている。

謹賀新年 「本多上野介正純公を学ぶ市民の会」が結成されてから約2年——

当会ではこれまで、宇都宮市の「よみがえれ！宇都宮城 市民の会」の皆様と様々な交流を深めてまいりました。

当会発足直後の平成16年11月より「宇都宮城址まつり 時代行列」に参加し、翌17年には復元中の宇都宮城へ瓦・柱を寄付したほか、宇都宮市民の会の皆様からは、正純公が詠んだといわれる歌にちなむ紅白2本の「うめもどき」が寄贈されるなど、本多正純公ゆかりの宇都宮市とは、この2年で更に深い絆が生まれております。

豪壮！華やか！宇都宮城

その宇都宮城がいよいよ復元され、今年3月、完成記念式典が宇都宮市において華やかに開催されることとなりました。式典開催に合わせ当会では「宇都宮城復元記念式典参加ツアー」を企画いたしましたので、下記記載の詳細をご覧ください、奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

完成式典へ参加者募集

■宇都宮城復元記念式典参加ツアー■

- ・日 程 平成19年3月24日（土）～25日（日） 1泊2日
- ・出発時間 3月24日（土）午前7時
- ・出発場所 横手地域局（旧横手市役所）前 二予定二
- ・帰横時間 3月25日（日）午後9時以降 二予定二
- ・参加費用 1人当たり 13,000円
(交通費、ホテル代、24日の夕食代となります)
- ・宿泊ホテル 栃木県宇都宮市内 「ホテル ニューイタヤ」
- ・申込締切 平成19年1月31日（水）

※ホテル予約の関係で、申込締切日を早めておりますので、ご了承ください。

二層天二衝く威容

街を俯瞰す清明台

いよいよその全容を現した宇都宮城「清明台」――

3月に行われる完成記念式典では、「富士見櫓」も含めた全景がご覧になれます。また、イベント「シンポジウム」には、当会の副会長・佐川君子様がパネリストとして参加いたしますので、ぜひツアーにご参加ください。

■タイムスケジュール■（12月25日現在の予定です）

3月24日（土）「歴史講演会・シンポジウム」

午後1時30分～2時50分 講演会（講師：塙静夫氏＝栃木県考古学会会長）

午後3時 5分～4時10分 シンポジウム

コーディネーター：福田三男氏（前下野新聞記者）

パネリスト：藤井 清氏（よみがえれ！宇都宮城市民の会会長）

佐川君子氏（本多上野介正純公を学ぶ市民の会副会長）

塙 静夫氏（栃木県考古学会会長）

3月25日（日）「完成記念式典」

午前10時～ 11時 記念式典（宇都宮市主催）

午前11時～午後3時 復元記念行事（宇都宮市民の会主催）

※写真は、去る10月に宇都宮市を訪れた横手商工会議所様よりお借りいたしました。

七月九日、本多上野介正純公の墓前に紅白のうめもどきが植樹されました。
これは、幽閉され非業の死を遂げた横手の地で詠んだといわれている歌にちなみ、「よみがえれ！宇都宮城市民の会」様より寄贈いただいたものです。
当日は、宇都宮市民の会の藤井清会長を含む二十三名が来横、当会からも二十七名の会員が参加したほか、遠く長岡市から墓碑を訪れていた方も参列し、御霊前献茶・植樹式が厳かに執り行われました。
秋の木洩れ日の中、真っ赤な実をつけたうめもどきは、今も正純公を静かに見守っています。



日だまりを
恋しと思ううめもどき
日陰の赤を見る人もなく



植樹された紅白のうめもどきを前に＝正純公墓前にて



うめもどきに土を盛る多賀系会長。
遠く宇都宮城の土も最期の地に戻る

正純公への思いを託す記載台



完成した記載台を前に記念撮影（平成18年4月15日）

平成18年度事業の第1弾として、4月15日、あさくら館工芸ボランティアルームにおいて通常総会が開催されると同時に、昨年度から懸案となっていた「記載台」の設置・除幕式が行われました。

総会では、新役員に伊藤松五郎さん（大沢郷）と渡辺勝郎さん（蛇の崎）が選出されたほか、①うめもどきの植栽②宇都宮城完成記念式典への参加③記載台の設置・説明版の塗装——など平成18年度事業が承認されております。

引き続き行われた記載台設置・除幕式には、大沢郷からの5名を含め総勢25名が参加、除幕の後、多賀系会長により最初の記帳が行われ、会員が次々に正純公への思いを綴りました。

現在も全国各地からの参拝者が正純公を偲ぶ歌を書き込むなど、正純公が眠る地の“記念碑”となっております。

なお、記載台は栗の丸太を支柱にした総檜づくりで高さ約1.5m、観音開きの下の板状の台を引き出し記載するようになっており、建具師の石橋廣さんが約3か月をかけ作成した大変貴重なものです。



初めての記帳に臨む多賀系会長（平成18年4月15日）

設置にご協力いただいた横手市シルバー人材センターの方々も合わせて、当会より厚く御礼申し上げます。

編集後記



遅ればせながら、会報第4号をお届けいたします。今年の活動を振り返れば、春の総会から始まり、記載台の設置、宇都宮市民の会様からうめもどきの寄贈が行われ、墓碑の周りが少しずつ、しかし確実に整備されてきたように思います。

紅白のうめもどきは、冬囲いがされ、最近まではその囲いの中から赤い実が顔をのぞかせていました。白の実は残念ながら18年は見ることはできませんでしたが、2年目に期待です。

さて、いよいよ3月には宇都宮城清明台が完成し、当会もシンポジウム及び記念式典に参加いたします。宇都宮城址公園の中核をなす清明台、その全貌をご自分の目でぜひお確かめください。

風邪がはやっているようです。寒さ本番、体調管理には十分、注意したいものです。

（事務局 小玉幸平）